

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		福島潟自然文化活動事業補助金 福島潟自然文化基金を活用し、福島潟の自然文化活動事業を行う個人または団体に対し補助金を交付する。					
款・項・目		総務費 総務管理費 区政推進費					
所属等		北区地域課 文化・スポーツ係 電話：025-387-1195					

年 度		27年度（1年目）		28年度（2年目）		29年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	1,000		1,000		1,000	
	決算(千円)	500		151		1,000	
補助率		99.9%		96.4%		90.0%	
目 標		福島潟に関する自然文化活動を行う個人または団体を支援することにより、市民との協働による福島潟の自然保護活動やPRを行い、自立して活動する市民を育てていくとともに、市民の柔軟な発想を生かした各種ソフト事業を実施していく。市民との協働による自然保護活動やPRなどなどのソフト事業を年間3回以上、協働に携わる市民の数及び事業に参加する市民の数を合計で年間300人以上を目標とする。 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上					100.0%	ソフト事業年3回 市民参画・参加者数計300人
	達成率 80%以上			83.3%	ソフト事業年2回 市民参画・参加者数計400人		
	達成率 50%以上	66.6%	ソフト事業年1回 市民参画・参加者数計300人				
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化	※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください					
補助事業者による情報の公表		イベントチラシに掲載、または成果品に掲載					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか		e. 指標の推移が維持・向上しているか		
		○	×	×	○	
		b. 補助率は1/2以内か		f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか		
		×	×	○		
		c. 補助額が5万円以上になっているか		g. 目標は数値化されているか		
		×	×	○		
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)		h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か		
		○	○	○		
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> ・b, c: 事業を展開する団体は、財政基盤が脆弱であり、事業の趣旨を踏まえ補助率、補助額は内容を精査のうえ決定していく。 ・e: 近年、補助対象が重なる他の補助金の活用と分散傾向にあるため、福島潟の自然文化の推進を目的とし、連携した事業展開が図れることなど、補助金のメリットを各団体に周知することにより積極的な活用を促していく。 <g～hにおける取組>				
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 近年、補助対象が重なり補助金額も大きい他の補助金と活用が分散しているため。				
		① 拡充 改善 (補助率 , 補助額 , 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止				
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 安定的かつ継続的に魅力ある事業を展開していくため自主財源の確保を促すこととし、補助率については現行の10/10から1/2に変更する。また、原資となっている福島潟自然文化基金積立金も減少傾向にあるため、事業予算を1,000千円から実績ベースの500千円に減額する。				